

第二回理事會要録

(三月二十二日午前十一時半ヨリ於大東亞會館)

一、出席者

松尾理事長

大岡 釘本 東光 相良 西尾各常任理事

井上 鹽野 高瀬 腰原 大志万 田中 近澤 松宮各理事

長沼總主事 上村 伊藤 鹿島各主事

一、次第

1、挨拶

松尾理事長

2、昭和十七年度事業報告 長沼總主事

3、總主事辭任ノ挨拶 西尾常任理事

4、懇談

近澤理事 最近支那の學生に日本語が普及して留學生は大体七八割は日本語で日常の用が達せられるやうになつてきた。大東亞戰の結果日本語普及が廣く大東亞に廣

げられるやうになつてきたのは當然で結構であるが大東亞戰の成否は支那を如何に處理するかにあるのであるから依然として支那に中心をおいて貰ひたい。殊に資源關係から南方にすべてのことが集中されてゐるが、從來の支那に對する日本語普及に對して傾けてきた力を抜かないやうお願ひしたいと思ふ。

東光常任理事

言葉は國民のながい傳統精神を集積したものであるので、これを教へ込むことが文化工作の捷徑である。南方占領地は別として大東亞省管内の泰佛印においては現在どうした氣運に向つて進んでゐる。そこで會にお願ひしたいことは日本語普及の根本的方面について研究立案していただきたい。現地ではともすれば便宜主義にもなれば又誤りもおかし易い。そこでながい目でみて間違ないやう根本的なことに深く目をそそいで欲しい。もうした方面への研究の費用もとあるものでしどし利用して欲しい。言葉を知ることがこの國に對する親愛の情を覺えるものである。そこで日本語を覺えると知らず知らずの内に親日的になつてくるものである。いろいろのこと日本語の普及といふことが文化工作の基礎になると思ふ。

昭和十七年度事業報告

日本語教育振興會

一、日本語教育ニ關スル編纂事業概況
情報局編纂本會刊行物

ニツボンゴ

六種

昭和十七年九月一昭和十八年一月

(半島マレー語、島マレー語、安南語、タイ語、ビルマ語、タガログ語)

ロ、文部省編纂本會刊行物

日本語讀本

卷四

日本語讀本

卷五

日本語讀本學習指導書

卷一

(印刷中)

日本語讀本學習指導書

卷二

日本文化讀本

三種

「日本の紡績」「日本の年中行事」「日本の女性生活」

ハ、本會編纂刊行物

日本語教授法の原理

(印刷中)

日常生活に於ける敬語法

(印刷中)

東亞に於ける西歐語の普及

(原稿完成)

東亞に於ける諸民族語

(原稿完成)

各種教授法の研究

(原稿完成)

日支標準音の比較及口型圖

(原稿完成)

現代語の諸問題

(印刷中)

ニ、前年度刊行物中本年度増刷ノ分

ハナシコトバ

上

一三三〇〇〇部 昭和十七年十月

ハナシコトバ

中

一八三〇〇〇部 昭和十八年二月

ハナシコトバ

下

一三三〇〇〇部 昭和十八年三月

ハナシコトバ學習指導書

上

一〇〇〇部 昭和十八年二月

ハナシコトバ學習指導書

中

一〇〇〇部 昭和十七年十月

ハナシコトバ學習指導書

下

一〇〇〇部 昭和十八年一月

日本語教育振興會

東京市麹町區文部省内

日本語讀本

卷一

三二〇〇〇部

昭和十八年二月

日本語讀本

卷二

三二〇〇〇部

昭和十八年二月

二、日本語教師養成ニ關スル事業概況

イ、第二回日本語教育講座

期間 自昭和十七年七月二十六日至七月三十一日

場所 小石川大塚東京文理科大學ニ於テ實施

講義時間 計二十四時間 受講人員七十名

ロ、支那派遣教員鍊成

第六回鍊成

自昭和十七年五月十三日至五月三十日 十八日間

府下小金井町浴恩館ニ於テ實施 受講人員五十八名

第七回鍊成

自昭和十七年九月二十一日至九月三十日 十日間

澁谷區原宿東亞報德會東京會堂ニ於テ實施 受講人員五十三名

第八回鍊成

自昭和十七年十月十日至十月二十日 十一日間

澁谷區原宿東亞報德會東京會堂ニ於テ實施 受講人員六十二名

日支漢字ノ異義調査

日本語彙ノ調査

日華辭典ノ編纂

簡易日本語學習辭典ノ編纂

ロ、日本語教授者懇談會ノ開催

第二回總會 昭和十七年九月十八日 於雅敘園 出席者四十三名

第二回委員會 昭和十八年二月二十七日 於レインボーグール出席者八名

第三回委員會 昭和十八年三月十七日 於如水會館 出席者 六名

日本語教育振興會

東京市麹町區文部省內

日本語讀本
日本語讀本

卷一
卷二

三二〇〇部 昭和十八年二月
三二〇〇〇部 昭和十八年二月

二、日本語教師養成ニ關スル事業概況
イ、第二回日本語教育講座

期間 自昭和十七年七月二十六日至七月三十一日

場所 小石川大塚東京文理科大學ニ於テ實施

講義時間 計二十四時間 受講人員七十名

ロ、支那派遣教員鍊成

第六回鍊成

自昭和十七年五月十三日至五月三十日 十八日間

府下小金井町浴恩館ニ於テ實施 受講人員五十八名

第七回鍊成

自昭和十七年九月二十一日至九月三十日 十日間

澁谷區原宿東亞報德會東京會堂ニ於テ實施 受講人員五十三名

三、日本語普及並ニ教育ニ關スル研究事業概況

イ、本會ニ於テ研究調査中ノモノ

誤リ易キ語音語法ノ地域別調査

日蒙標準音ノ比較

日支漢字ノ異義調査

日本語彙ノ調査

日華辭典ノ編纂

簡易日本語學習辭典ノ編纂

ロ、日本語教授者懇談會ノ開催

第二回總會 昭和十七年九月十八日 於雅敘園 出席者四十三名

第二回委員會 昭和十八年二月二十七日 於レインボーグール出席者八名

第三回委員會 昭和十八年三月十七日 於如水會館 出席者 六名

ハ、日本語普及問題^{研究}調査委員會ノ開催（目下準備中）

第一部會 普及方策ニ關スル研究

第二部會 日本語自体ニ關スル研究

第三部會 日本語教育ニ關スル研究

ニ、日本語普及叢書ノ刊行（目下準備中）

ホ、日本語普及講演會

昭和十八年二月二十七日京都市新聞會館ニ於テ開催 聴衆^約六百名

講演

日本語教育の諸問題

日本語普及と國語への反省

フィリツピンより歸りて

他ニ映畫 「英國崩るるの日」

西尾 實

澤 瀧 久 孝

三 木 清

日本語教育振興會

東京市麴町區文部省内